



「おっぱい」がふくらむのはどうして

「おっぱい」が大きくなるのは、大人の体になっていくため

子どもから大人になるとちゅうに、思春期という時期があります。

思春期とは、子どもの時代から、大人の時代へと変化していく時期で、女の子から大人の女性へ、男の子から大人の男性へと、体や心が変化していく時期です。

思春期は、女の子では、だいたい9才から14才くらいの間に、男の子ではだいたい10才から14才くらいの間に始まりますが、人によってちがっています。しかし、18才から20才になるころには、だれもが同じように大人の体になっています。

思春期になると、女の子の場合は、卵巣で女性ホルモンがつくられるようになり、体がふっくらとしてきたり、おっぱい（お乳）がふくらんで大きくなってきたりします。

ですから、おっぱいがふくらむのは、赤ちゃんを産んで、お乳を飲ませることができるように、女性ホルモンがつくられ、大人の体になっていくためです。

男の子の体の変化は

男の子の場合、精巣で男性ホルモンがつくられ、骨が太くなったり、ひげなど体の毛がこくなったりして、体全体ががっしりした感じになります。（監修・保志 宏）

